

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。

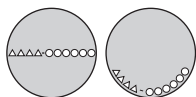
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。シチズンのホームページ(<https://citizen.jp/>)でも操作方法がご覧いただけます。また、モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されている場合があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も、同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。

この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例



時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、9、10ページを必ずお読みください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

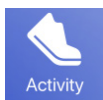
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

この時計の特長



専用アプリでスマートフォンと接続

時刻・カレンダー同期を行います。専用アプリについては、お使いのスマートフォンのアプリサイトからダウンロードしてください。詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
<https://citizen.jp/support/guide/html/w510/w510.html>



活動量計を搭載

時計で記録した活動量データを専用アプリ上に表示させます。



パーソナライズ機能

専用アプリ上で最大3つの拡張機能をカスタマイズし、時計上で選択してさまざまな情報を表示させることができます。この拡張機能のことを「iidee(アイデア)」と言います。iideeについて詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
<https://riiiver.com/>



エコ・ドライブ(Eco-Drive)

光で充電するため、定期的な電池交換は必要ありません。



パーペチュアルカレンダー

2100年2月28日まで月末やうるう年のカレンダー修正は不要です。

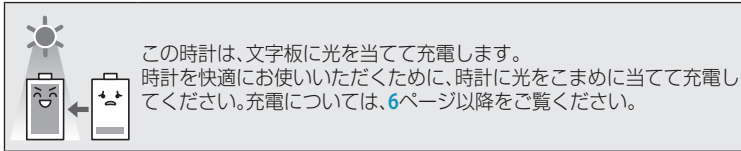
- ・「エコ・ドライブ」は、シチズン独自の技術です。

もくじ

安全にお使いいただくために

—必ずお読みください	1
この時計の特長	1
ご使用になる前に	2
スマートフォンとの接続について	2
バンド調整について	2
保護シールについて	2
特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた	2
各部の名称	2
スマートフォンを接続する前に	2
ペアリングできるスマートフォンについて	2
スマートフォンをペアリング(登録)する	2
ペアリングを行う前に	2
ペアリングする	2
接続と切断について	3
時刻受信について	3
発電量と充電量を確認する	3
発電量を確認する	3
専用アプリで充電量を確認する	3
時計で充電量を確認する	4
時計の充電量表示について	4
活動量計を使う	4
活動量計のデータについて	4
時計内部の温度を確認する	5
時計の接続表示について	5
接続表示を解除する	5
iidee(アイデア)を使う	5
iidee(アイデア)を切り替える	5
[私の時計]画面について	6
専用アプリに保存されたデータを削除する	6
時計をフライトモードにする	6
充電について	6
時刻・カレンダーを手動で合わせる	7
困ったときは	7
基準位置を確認・修正する	7
時計の状態と対処方法	8
時計に保存されたデータを削除する	8
Bluetoothについて	8
エコ・ドライブ取り扱い上の注意	9
防水性能について	9
お取り扱いにあたって	9
お取り扱いにあたって(つづき)	10
保証とアフターサービスについて	10
製品仕様	10

ご使用になる前に



スマートフォンとの接続について

スマートフォンとの接続は、専用アプリを使用して行います。お使いのスマートフォンに合わせて、アプリストアよりダウンロードください。

バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。

バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

■ ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

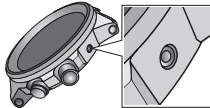
時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	りゅうずが飛び出すまで、左に回す	りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロックボタン	ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	ねじを右に回し、しっかり締める

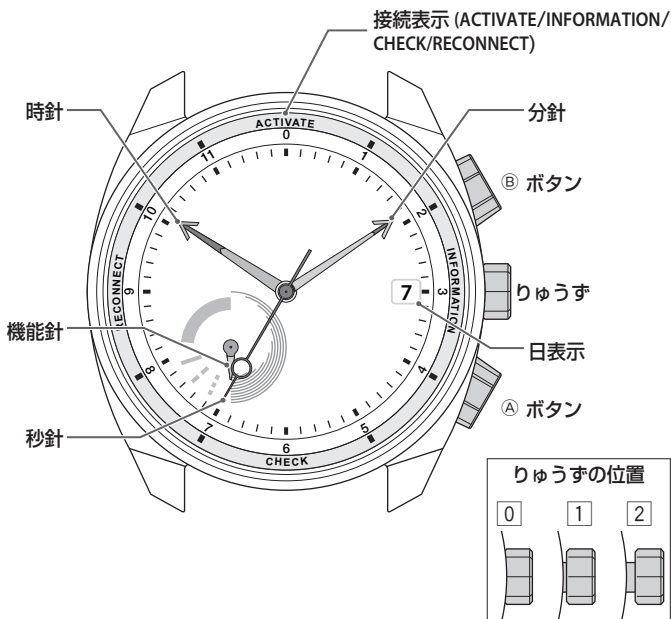
■ 隠しボタン

ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

・金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。



各部の名称



・お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
・ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

スマートフォンを接続する前に

この時計は、省電力通信技術 Bluetooth Low Energy を使用し、スマートフォンと接続します。接続には、スマートフォンに専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W510」をインストールし起動させ、ペアリング(登録)する必要があります。接続までの流れは、次のようになります。

専用アプリのインストール

専用アプリの起動

ペアリング(登録)

接続

切断

* Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

* Androidは、Google Inc.の登録商標です。

* iOSは、Apple Inc.のOSの名称です。iOSは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

ペアリングできるスマートフォンについて

時計とペアリングして使用できるスマートフォン(Android OS 8.0/iOS 12.0以降に対応)や、専用アプリについての情報は、次のサイトで確認できます。

<https://citizen.jp/support/guide/html/w510/w510.html>

スマートフォンをペアリング(登録)する

時計とスマートフォンを接続するときは、まずペアリングを行います。

ペアリングを行う前に

- ・ペアリングを行うと、固有の情報(ペアリング情報)が時計とスマートフォンにそれぞれ保存されます。
- ・すでにペアリング情報が保存されている時計で、新たにペアリングを行うと、既存のペアリング情報は破棄され、新しいペアリング情報が保存されます。

ペアリングする

- ・ペアリングには、時計とスマートフォンの両方の操作が必要です。
- ・ペアリングは、およそ5秒で完了します。

1 アプリサイトから、専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W510」をインストールする

2 専用アプリを起動する

- ・アプリ画面は、ペアリングが完了するまで表示させたままにしておきます。
- ・ログイン前の場合、ログイン画面でアカウントを作成します。続けて行う初期設定が完了すると、ペアリングの画面が表示されます。



ログイン後に、左の画面が表示されない場合は、ホーム画面の右上のメニューアイコンをタップします。



その後、[私の時計]→[新しい時計を追加]とタップします。

3 時計の右上の⑧ボタンと右下の④ボタンを同時に押す

時計の秒針が接続表示の「ACTIVATE」を指して、ペアリングが始まります。

■ ペアリングに成功すると

時計の秒針が素早く2回転し、時計とスマートフォンが接続されます。

- ・時計のファームウェアアップデートが可能なき場合は、すみやかに実行してください。ファームウェアアップデートは、メニュー画面の[私の時計]で行います。

■ ペアリングに失敗すると

通知音が鳴り、時計の秒針が接続表示の「RECONNECT」を指し停止します。

- ・ペアリングをやり直すときは、時計のいずれかのボタンを押し、接続表示を解除します。

接続と切断について

ペアリング後の時計とスマートフォンは、「接続」と「切断」の2つの状態のいずれかになります。

この時計とスマートフォンは、常時接続の状態にはありません。時計や専用アプリを使用する際に、必要に応じて接続し、iidea(アイイデア)の使用、時刻情報などの情報の送信が済むと自動で切断されます。

・「接続」には、スマートフォン上で専用アプリが起動している必要があります(バックグラウンド動作も含む)。

接続するには

- 1 専用アプリを起動する
- 2 時計の右上の⑧ボタンと右下の④ボタンを同時に押す
時計とスマートフォンが接続します

手動で切断するには

りゅうずの位置を①または②にします。

時刻受信について

時計は、スマートフォンに接続することによって時刻情報を取得し、自動で時刻・カレンダーを合わせます。

また、一日に一度、時計の表示時刻の午前3時以降に時計に光が当たると、切断中であっても、自動で一時的にスマートフォンに接続し、時刻・カレンダーを合わせます(自動時刻受信)。

- ・自動時刻受信には、事前にスマートフォンとのペアリングが必要です。
- ・時計がパワーセーブ(7ページ)中のときは、解除されたときに、自動時刻受信が始まります。
- ・次の場合、自動時刻受信は働きません。
 - りゅうずの位置が③以外するとき
 - 時計の充電量レベルが「0」(充電警告)のとき

発電量と充電量を確認する

時計の発電量と充電量を専用アプリで確認します。

・発電量と充電量のデータは、2週間時計内に保存され、古いデータから順次削除されます。

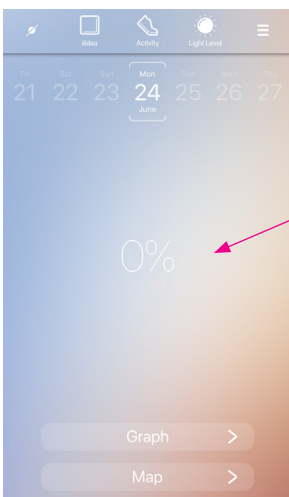
発電量を確認する

- ・発電量は、達成度で示されます。達成度は、1日分の充電に必要な発電量を100%とした場合の数値です。
- ・発電量の履歴をグラフやマップで表示させることもできます。

- 1 専用アプリを起動する
- 2 時計の右上の⑧ボタンと右下の④ボタンを同時に押す
時計とスマートフォンが接続します。
- 3 発電量画面を表示させる



4 発電量画面を確認する



達成度

スマートフォンを通常使用した場合に必要な1日の電力量を100%としています。

- ・通常よりもより多く使用すると、達成度100%でも、充電量は小さくなります。
- ・「スマートフォンの通常使用」については、[製品仕様](#)をご覧ください。
- ・**[Graph]****[Map]**をタップすると、日/週/月単位の折れ線グラフや地図上の軌跡で発電量を表示させることができます。

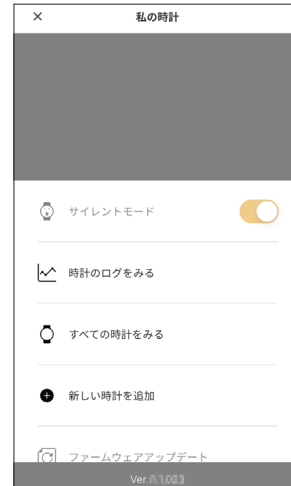
専用アプリで充電量を確認する

- 1 専用アプリを起動する
- 2 時計の右上の⑧ボタンと右下の④ボタンを同時に押す
時計とスマートフォンが接続します。
- 3 専用アプリのホーム画面で、メニューアイコンをタップする



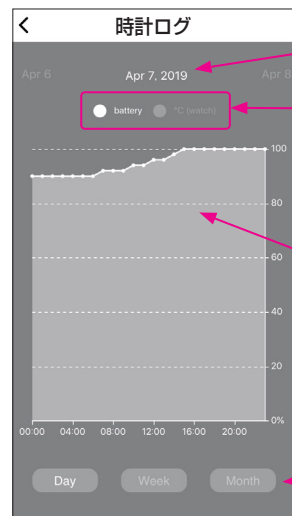
4 [私の時計]をタップする

・時計とスマートフォンが接続されているときは、現在の充電量が表示されません。



5 [時計のログを見る]をタップする

充電量と時計温度の画面が表示されます。



表示期間を切り替えます。

[battery](充電量)と**[°C(watch)]**(時計温度)の表示を切り替えます。

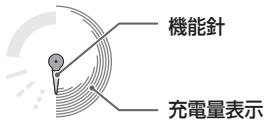
グラフの点は、表示時間単位の平均値を表しています。

表示期間の単位を切り替えます。

時計で充電量を確認する

- 充電量は、29段階で表示されます。

1 右下の④ボタンをくり返し押して、機能針を充電量表示に切り替える



時計の充電量表示について

充電量は、機能針によるパーセント表示です。

表示	持続時間(およそ)		表示の意味
	接続機能を使うとき	使わないとき	
100%	7か月	1年	十分充電されています。
50%	5か月	9か月	半分程度の充電量です。
0%	接続できません	18日	すぐ充電してください。 <ul style="list-style-type: none"> 0%になると、時計の秒針が、2秒ごとに動くようになります(「充電不足になると(充電警告機能)」)。

- 持続時間の「接続機能を使うとき」の使用条件など詳細は、「製品仕様」の「スマートフォンの通常使用」の表をご覧ください。
- 接続中に充電量が「0%」になった場合は、切断されます。ただし、時計機能は使用できます。
- 充電警告機能が働いているときは、時計機能の一部も操作できなくなります。

活動量計を使う

この時計には加速度センサーが内蔵されていて、活動量データが自動で計測され保存されています。

時計とスマートフォンを接続すると、活動量データはスマートフォンに転送され、専用アプリで確認・保存することができます。

- 計測された活動量データは、2週間時計内に保存され、古いデータから順次削除されます。

1 専用アプリを起動する

2 時計の右上の③ボタンと右下の④ボタンを同時に押す
時計とスマートフォンが接続します。

3 活動量画面を表示させる



4 活動量画面を確認する



達成度

- 設定した目標値を100%としています。
- [Graph]をタップすると、日/週/月単位の折れ線グラフで活動量を表示させることができます。

* 本機の活動量計では、株式会社アコース提供によるソフトウェア技術(AAA)が使用されています。

* 活動量計で示されるデータは、使用状況によっては実際の活動量とは異なる場合があります。目安としてご利用ください。

活動量計のデータについて

活動量計を正しく使用するためには、アプリ側で身体データ(性別、身長、体重、生年月日)の入力が必要です。

これらのデータは、活動量データ(歩数、消費カロリーなど)とともに、時計およびアプリ上に保存されます。

上記のデータを破棄したい場合は、「時計に保存されたデータを削除する」をご覧ください。

時計内部の温度を確認する

この時計には温度センサーが内蔵されています。時計とスマートフォンを接続すると、温度センサーのデータはスマートフォンに転送され、専用アプリで確認することができます。

- 表示される温度は、時計内部の温度です。時計を着けていると、周囲の温度と異なる場合があります。周囲の温度を知りたい場合は、時計を外し時計全体が周囲の温度に馴染むまで待つ必要があります。
- 計測された温度データは、2週間時計内に保存され、古いデータから順次削除されます。
- 温度測定の結果は、周囲の温度が+5℃～+35℃のときに、およそ±5℃の範囲で表示されます。目安としてご利用ください。
- 温度の単位(℃/°F)は、スマートフォンの設定にしがいます。

1 専用アプリを起動する

2 時計の右上のⓑボタンと右下のⒶボタンを同時に押す

時計とスマートフォンが接続します

3 専用アプリのホーム画面で、メニューアイコンをタップする

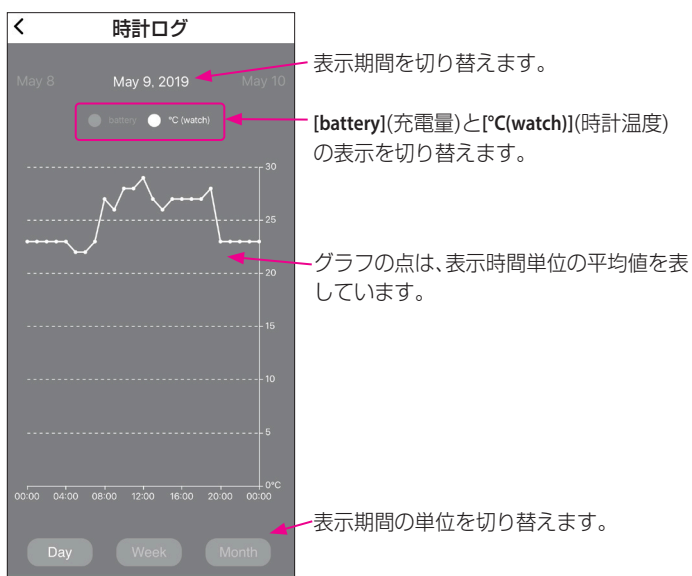


4 [私の時計]をタップする

5 [時計のログをみる]をタップする

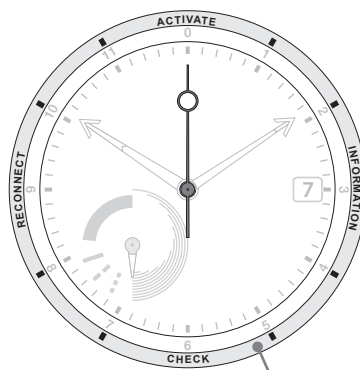
充電量と時計温度の画面が表示されます。

6 [°C(watch)]をタップして、時計温度の表示に切り替える



時計の接続表示について

スマートフォンとの接続状態に変化があると、秒針が、対応する接続表示を指して停止します。



秒針による接続表示

表示	秒針の位置	意味
ACTIVATE	0秒	接続プロセスの進行中
INFORMATION	15秒	専用アプリとの通信による表示
CHECK	30秒	iiidea(アイイデア)の動作エラー表示
RECONNECT	45秒	ペアリングの失敗/不意の切断

- 接続表示は、りゅうずの位置がⓐのときのみ行われます。接続表示ができない場合は、接続表示ができるようになるまで、接続表示は保留されます。
- 秒針が接続表示している間も、時計は正しい時刻・カレンダーを保ちます。
- [INFORMATION]表示は、専用アプリのアップデートをお知らせする場合もあります。

■ 接続可能な範囲について

時計とスマートフォンの接続可能な範囲は、最大でおよそ10 mです。壁などの障害物があると、より狭くなる場合があります。また、時計を腕組みするなど体で遮らないようにしてください。

接続表示を解除する

時計を操作して接続表示を解除するまで、秒針は秒表示を行いません。

- 操作によっては、事前に接続表示を解除する必要があります。
- 解除した接続表示を再度表示させることはできません。

1 接続表示中に、いずれかのボタンを押す

接続表示が解除され、秒針が秒表示に戻ります。

- りゅうずの位置を変更しても、接続表示は解除されます。

iiidea(アイイデア)を使う

専用アプリには、iiideaを組み込む3つのスロットが用意されています。お好みの機能をスロットに追加し、時計から操作したり、時計上に表示させたりすることができます。

- それぞれのiiideaごとに使用条件は異なります。専用アプリ上のiiideaのアイコンをタップしてご確認ください。また、iiideaについて詳しくは、<https://riiiver.com/> をご覧ください。

iiidea(アイイデア)を切り替える

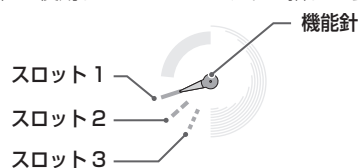
1 専用アプリを起動する

2 時計の右上のⓑボタンと右下のⒶボタンを同時に押す

時計とスマートフォンが接続します

3 右下のⒶボタンをくり返し押して、使用するiiideaに切り替える

- 機能針が、使用するiiideaのスロットを指すようにします。



- 専用アプリ上でiiideaが組み込まれていないスロットは、スキップされます。

■ iiidea(アイイデア)の使用をやめるときは

右下のⒶボタンをくり返し押して、機能針を充電量表示に切り替えます。

[私の時計]画面について

専用アプリの[私の時計]では、様々な設定を行うことができます。

- 時計とスマートフォンが接続されていないと、使用できない設定があります。



サイレントモード	オンのときは、時計は音を発しなくなります。
時計のログをみる	時計の充電量と温度をグラフで表示します。
すべての時計をみる	現在接続中の時計などを表示します。
新しい時計を追加	ペアリングを行うときは、ここをタップします。
ファームウェアアップデート	時計のファームウェアのアップデートを行います。

専用アプリに保存されたデータを削除する

スマートフォン上の専用アプリに保存されたデータとクラウド上に保存されたデータは、専用アプリの設定画面→[アカウント設定]→[データの削除]により、削除することができます。

- 時計上に保存されたデータを削除するときは、「**時計に保存されたデータを削除する**」をご覧ください。

時計をフライトモードにする

飛行機の機内や病院内など、必要なときに時計の接続機能をオフにすることができます。

1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、現在のフライトモードの設定(オン/オフ)を指します。

- スマートフォンと接続中の場合、切断されます。

	表示	秒針の位置	意味
オン		30秒	フライトモード設定がオンになり、接続機能が使用できなくなります。自動時刻受信もできなくなります。
オフ		0秒	フライトモード設定がオフになり、接続機能が使用できるようになります。

2 りゅうずを回して、フライトモード設定を切り替える

オフ→オン: りゅうずを右に回します。

オン→オフ: りゅうずを左に回します。

3 りゅうずの位置を②にして終了する

通常の表示に戻ります。

■ フライトモード設定をオフにした後は

フライトモード設定をオフにすると、時計の接続機能が使用できるようになります。

スマートフォンと接続が必要なときは、接続操作が必要です。

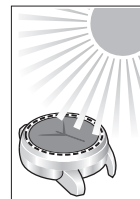
- 時計の時刻とカレンダーを確認し、必要があれば、時刻・カレンダーを合わせてください。

充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光が当たると行われます。

次のような充電を心がけると、時計を快適にご使用いただけます。

- 時計を使用しないときでも、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く
- 週に一度は時計の文字板を太陽に向けて、5~6時間直射日光に当てる
- 光の当たらない場所で長期保管をしない



注意

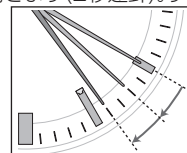
- 故障の原因となりますので高温下(約60°C以上)での充電はおやめください。
- 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。

- 充電完了後、時計は自動で充電を停止します(過充電防止機能)。充電のしすぎによって、時計や二次電池の性能が損なわれることはありません。

充電不足になると(充電警告機能)

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。すみやかに文字板に光を当てて充電してください。

- 充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が18日間以上続くと、充電不足で時計が停止します。



■ 充電警告中(2秒運針中)は

時刻・カレンダーは正しく表示されます。

環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	屋外(晴天)	屋外(曇天)	30W蛍光灯の20cm下	屋内照明
明るさ (lx、ルクス)	100,000	10,000	3,000	500
通常に動く状態を1日保つ	6分	19分	1.5時間	6.5時間
時計が停止してから通常に動き出すまで	3時間	12時間	40時間	—
時計が停止してから充電完了まで	25時間	60時間	—	—

- 直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが足りません。

■ 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで

スマートフォンを使用する	約7ヵ月*
スマートフォンを使用しない	約1.0年
パワーセーブが働き続ける	約1.1年

*「スマートフォンを使用する」の使用条件など詳細は、「製品仕様」の「スマートフォンの通常使用」の表をご覧ください。

スマートフォン接続時の注意

- スマートフォンとの1日の接続回数やiideeの使用頻度が多くなると、多くの電力が消費されます。時計を充電するよう心がけてください。
- スマートフォンの充電量にも配慮ください。

パワーセーブ機能

文字板に光が当たらない状態が30分間続くと、節電のため、秒針を0秒の位置で自動で停止させる機能です。

- ・パワーセーブ中は、自動時刻受信は行われません。
- ・りゅうずの位置が②以外のときは、パワーセーブ機能は動きません。

■ パワーセーブを解除するには

次の場合、パワーセーブは解除され、通常の表示に戻ります。

- ・文字板に光が当たって発電が始まる
- ・時計の加速度センサーが動き活動量が計測される(身体データが登録済みのとき)

長期間パワーセーブ機能が働いていた場合は、時計の時刻・カレンダーを確認し、必要があれば、時刻・カレンダーを合わせてください。

時刻・カレンダーを手動で合わせる

- ・スマートフォンと接続中の場合、切断されます。

1 りゅうずの位置を②にする

秒針が、15秒を指します。

2 右上の③ボタンを2秒間押し続ける

秒針が、0秒を指します。

・秒針が0秒を指したら、ボタンを離します。

3 右下の④ボタンを押して、合わせる対象を切り替える

- ・右下の④ボタンを押すごとに、合わせる対象が次のように切り替わります。
分 → 時 → 日 → 年/月 → (始めに戻る)
- ・針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。

4 りゅうずを回して、針/表示を合わせる

- ・日表示が切り替わる時が、午前です。午前/午後を間違わないよう注意します。
- ・機能針は、日表示に連動します。
- ・分針/時針/日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- ・年と月は、「年と月の表示について」を参照して合わせます。

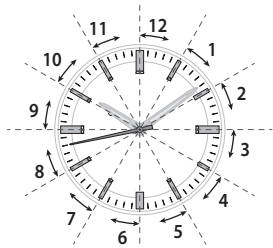
5 手順3と4をくり返す

6 時報に合わせて、りゅうずの位置を②にして終了する

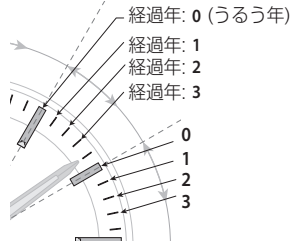
■ 年と月の表示について

年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。
各数字が月に対応します。



「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



年					経過年	秒針の位置
2016	2020	2024	2028	2032	0 (うるう年)	月の表示範囲の最初の目盛り
2017	2021	2025	2029	2033	1	1目盛り目
2018	2022	2026	2030	2034	2	2目盛り目
2019	2023	2027	2031	2035	3	3目盛り目

- ・うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。

<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

例: 2019年7月を設定するときの秒針の位置

2019年は、表より経過年が「3」なので、秒針は、7月の範囲の「3目盛り目」を指すことがわかります。



困ったときは

基準位置を確認・修正する

基準位置の確認と修正は、専用アプリから行うこともできます。

時計をスマートフォンと接続し、専用アプリの画面でメニュー → [ヘルプ] → [困ったときは] → [時刻または日が合わない]と進んでください。

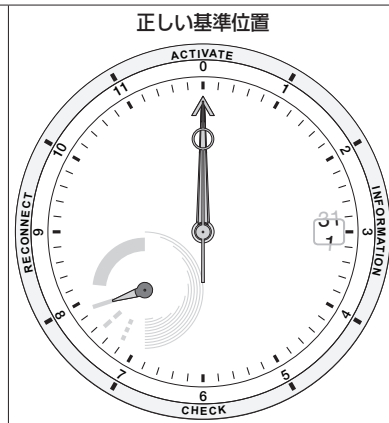
時刻情報を適切に受信しても時刻・カレンダーが正しく表示されないなどの場合、基準位置が正しいかどうか確認します。

- ・各表示が正しい基準位置からずれていると、時刻情報を受信しても、時刻・カレンダーが正しく表示されません。
- ・必ず現在の基準位置を確認し、修正の必要があるときだけ、基準位置の修正を行ってください。

基準位置とは

時刻・カレンダーを表示するために基準としている、各針/表示の位置のことです。

- ・時針/分針/秒針の位置: 0時00分0秒
- ・機能針の位置: スロット1
- ・日表示の位置: 「31」と「1」の間



1 りゅうずの位置を②にする

秒針が、15秒を指します。

2 右下の④ボタンを4秒間押し続ける

各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。

- ・各針/表示が動き出したら、ボタンを離します。
- ・各針/表示の動きが止まったら、次の手順に進みます。

3 上の図を参考に、基準位置を確認する

正しい	基準位置を修正しないで、手順8に進みます。
ずれている	手順4に進み、基準位置を修正します。

4 右下の④ボタンを押して、基準位置の修正を始める

5 右下の④ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ

- ・右下の④ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
機能針/日表示 → 時針 → 分針 → 秒針 → (始めに戻る)
- ・針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。

6 りゅうずを回して、針/表示を修正する

- ・日表示は機能針と連動します。機能針が5回転すると、日表示が1日ぶん動きます。
- ・時針を修正するとき、見やすくするため、秒針と分針が左右に少し分かれれます。
- ・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

7 手順5と6をくり返す

8 りゅうずの位置を②にする

時計は、基準位置を表示したままです。

9 右下の④ボタンを押して、終了する

時計の状態と対処方法

時計の状態	対処方法	詳細ページ
スマートフォンとの接続		
接続できない	時計のりゅうずの位置を確認する。	—
	充電量を確認する。	3
	時計のフライトモード設定を確認する。	6
	接続表示を解除する。	5
	専用アプリを起動する。	—
	スマートフォンのBluetooth設定を確認する。	—
	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	—
	スマートフォンのペアリング情報(Eco-Drive Riiiver)を削除し、ペアリングをやり直す。	—
ペアリングできない	時計のフライトモード設定を確認する。	6
	スマートフォンのペアリング情報(Eco-Drive Riiiver)を削除し、ペアリングをやり直す。	—
	時計を充電する。	6
アイコンが薄く、開かないアプリ画面がある	スマートフォンと接続する。	—
接続可能な距離内で、通知されない	時計の充電量を確認する。	3
	時計のフライトモード設定を確認する。	6
	専用アプリを起動する。	—
	専用アプリの通知設定を確認する。	—
	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	—
通知音が鳴らない	専用アプリの[私の時計]で、「サイレントモード」をオフにする。	—
設定中に接続が切れる	時計の充電量を確認する。	3
	専用アプリを起動する。	—
	スマートフォンが、接続可能な範囲(数m程度)にあるか確認する。	—
	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	—
時刻情報が取得できない	りゅうずの位置を確認する。	—
	時計の充電量を確認する。	3
	時計のフライトモード設定を確認する。	6
	時計がパワーセーブ状態になっていないか確認する。	7
	専用アプリを起動する。	—
	スマートフォンが、接続可能な範囲(数m程度)にあるか確認する。	—
	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	—
針の動きがおかしい		
時計をケースなどから出した途端に針が高速で回りだす	パワーセーブが解除されています。現在の時刻が表示されるまで待ちます。	—
操作中に、意図しない動きをする	通常表示に戻るまで待ちます。	—
秒針が動かない	接続表示を解除する。	5
	時計を充電する。	6
秒針が2秒ごとに動く	時計を充電する。	6
接続状態が表示されない	時計を充電する。	6
フライトモード設定が表示されない	時計を充電する。	6

時計の状態	対処方法	詳細ページ
時刻・カレンダーがおかしい		
時刻や日が正しくない	iiidea(アイイデア)の設定を確認する。	5
	時計のフライトモード設定を確認する。	6
	スマートフォンの時刻・カレンダーを確認する。	—
	スマートフォンから時刻情報を取得して、時刻・カレンダーを合わせる。	—
	手動で時刻・カレンダーを合わせる。	7
	基準位置を確認・修正する。	7

オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、時刻・カレンダーの設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

1 基準位置を合わせる

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。7ページの手順4以降をご覧ください。

2 時刻・カレンダー合わせをする

手動(7ページ)または、スマートフォンと接続して時刻・カレンダー合わせをします。

1 りゅうずの位置を②にする

2 右上の⑧ボタンと右下の④ボタンを同時に4秒間以上押し続けて、離す

ボタンから手を離すと、操作音が鳴り、オールリセットが行われます。

オールリセット後の各設定	
時刻	午前0時0分0秒
カレンダー	うるう年の1月1日
ペアリング情報	ペアリング情報は削除されません。
接続状態	切断

時計に保存されたデータを削除する

時計上に保存されたペアリング情報、身体データ、活動量計などのすべてのデータを削除し、工場出荷時に戻します。

1 りゅうずの位置を①にする

秒針が、0秒(フライトモード: オフ)または30秒(フライトモード: オン)を指して停止します。

2 右上の⑧ボタンを4秒間以上押し続ける

秒針が0秒を中心に大きく左右に動き、データの削除が行われます。
・秒針が左右に大きく動いたら、ボタンを離します。

Bluetoothについて

Bluetooth関連の法規制(使用可能な地域について)

国または地域によっては、Bluetoothの使用が法的に許可されていない場合があります。ご利用の前に、以下の弊社サイトで、Bluetoothの使用が許可されている国の一覧をご確認ください。

<https://citizen.jp/support/guide/html/w510/w510.html>

・使用許可のない国でこの時計を利用すると、法的に罰せられる場合があります。
・Bluetooth通信は、第三者によって故意または偶然に傍受される場合があります。重要な通信や人命にかかわる通信には、この時計を使用しないでください。

・Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

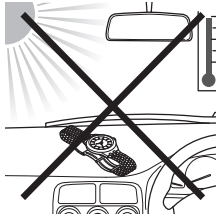
エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけておいてください》

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。
- 例)
 - 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。白熱灯で充電するときは、必ず50 cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
 - 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されると、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり時計の持続時間が短くなることがあります。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んででも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

⚠ 警告 防水性能について

- 時計の文字板もしくは裏蓋の防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)
- WATER RESIST(AWT)xx barはW.R.xx barと表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できませんが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できませんが、素潜り(スキンドイビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できませんが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示		使用例					
	文字板または裏蓋	仕様	水がかか程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキューバダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベ使用のスキューバ潜水に使用。	ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用。	濡れたままのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	—	非防水	×	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水	○	×	×	×	×	×
	W. R. 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	W. R. 10 bar	10気圧防水、20気圧防水	○	○	○	×	×	×
	W. R. 20 bar		○	○	○	×	×	×

お取り扱いにあたって

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意 使用上の注意

- ・りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかりと固定されているか確認してください。
- ・水分のついたまま時計の操作(りゅうず、ボタンなどの使用)をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- ・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- ・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- ・皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ) また、かぶれの原因にもなります。
- ・皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- ・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
- ・以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- ・お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- ・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様で作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- ・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用は避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着すると、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・時計のガラス部分や金属部分(裏蓋、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- ・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないうちにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押ししてください。また、ゴミ、汚れを落とすしてください。
- ・ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- ・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

お取り扱いにあたって(つづき)

時計のお手入れ方法

- ・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落とし、金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- ・皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- ・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- ・蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- ・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- ・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまふ場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用品を、通常7年間の基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ゆずり・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご購入・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<定期点検(有償)について>

・防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2~3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキンなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

<修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	W510	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度(非受信時)	平均月差±15秒 常温(+5℃~+35℃)携帯時		
作動温度範囲	-10℃~+60℃		
表示機能	時刻	時、分、秒	
	カレンダー	日	
持続時間	充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで		
	スマートフォンを通常使用するとき	約7ヵ月	
	スマートフォンと接続し、自動時刻受信を1日1回行うとき	約7ヵ月	
	スマートフォンを使用しないとき	約1.0年	
	パワーセーブ機能が1日中作動する場合	約1.1年	
	充電警告が始まってから時計が停止するまで		
使用電池	約18日		
付加機能	二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個		
	<ul style="list-style-type: none"> ・光発電機能 ・充電量表示機能(29段階) ・過充電防止機能 ・充電警告機能(2秒運針) ・パワーセーブ機能(節電機能) ・スマートフォン接続に関する表示機能 <ul style="list-style-type: none"> - 通信処理中表示機能(ACTIVATE) - 通知表示機能(INFORMATION) - iiiidea(アイイデア)エラー通知機能(CHECK) - 切断通知機能(RECONNECT) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナライズ機能 ・自動時刻受信機能 ・フライトモード機能 ・パーペチュアルカレンダー(2100年2月28日まで) ・JIS1種耐磁性能 ・衝撃検知機能 	

上の表で、「スマートフォンの通常使用」とは、次の場合を想定しています。

パワーセーブ	4時間/1日
自動時刻受信	1回/1日
加速度センサー	オン: 8時間/1日
	スタンバイ: 12時間/1日
	オフ: 4時間/1日
iiiidea(アイイデア)利用	10回/1日

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

